

Weekly コラム

平成 29 年 3 月 21 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

海底二万マイル

ジュール・ベルヌの作品『海底二万マイル』では、潜水艦ノーチラス号が海底の旅を続け、紅海のサンゴ礁やかつての海戦の残骸、果ては沈んだ大陸の遺跡などを目撃し世界の海を駆け巡ります。この作品のモデルとなった時代は 1800 年代とされていますが、2017 年となった現在でも、解明された地球の海底地形は約 15%に過ぎず、ほとんど進展していないようです。月や火星の地形ですらほぼ全てが解明されている今、宇宙よりも謎に満ちた神秘の世界が海底なのです。

2017 年度から、海底地形図の作成に向けたプロジェクトが本格的に始まります。太平洋水深総図(GEBCO)指導委員会に日本財団が加わる形です。海底地形図とは、海面がこれ以上下がらない面(基本水準面)からの深さを表す等深線で海底を表現した図のことを言います。海底地形は、私たちの安全に密接に結びついています。例えば、航空機の墜落などによる海難救助や捜索のほか、船舶や潜水艦の安全航行が各段に向上することになります。また津波の進路予測は、波が海岸に到着するときの波及の仕方が海岸沿いの海底地形に依存することが判明しております。さらに、氷床の融解による海面上昇も予測しやすくなるそうです。

そして最も注目されるべきは、海底資源の問題です。自国沿岸から 200 海里に資源開発権を持つ排他的経済水域や領海に関する海

底のデータは、他国の潜水艦の活動に関する戦略的情報としての価値があります。そしてそれは、軍事機密であることも意味します。そのため一国の中でも軍や海に関する情報機関、科学者などの間でそれぞれの思惑が異なる為、統一されることがありませんでした。つまり、海底地形図を明らかにすることというのは、軍事的な問題や海底資源の境界などの問題に大きな楔を打ち込むことでもあります。そして、海底地形図が 100%解明される目標が 2030 年になるそうです。

かつての大航海時代が、それまでの国際関係や貿易、流通に大きな進化をもたらしたことは言うまでもありません。そして新たな大航海時代の幕開けは、今度は陽の当たる洋上ではなく暗い深海の世界を明らかにする事で開かれそうです。それだけに闇のベールで守られていた様々な秘密が明らかになる可能性もあり、世界の枠組みは大きく変わることになるでしょう。もちろん日本にとりましても、かつての黒船以上の衝撃が待っているかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。